

吉野町トンネル長寿命化修繕計画

(1) 計画対象施設

計画対象となるトンネルは、吉野町が平成31年3月現在で管理している2施設となります。

(2) 計画期間

中長期の計画では、更新費用を考えるためトンネルの寿命以上の年数を考え50年間としています。

短期計画では点検頻度やその他の道路施設の計画期間を考えて、10年間の計画を策定しています。

(3) 優先度評価の考え方

計画では、限られた予算で効果的な対策を実施するため、健全度の低いものを最優先とし、更に周辺環境や路線の位置付け等を踏まえ、事業実施の際に町民に与える影響の大きいトンネルから優先に補修を実施します。

(4) 個別施設の状態等

これまでの点検によって診断されたトンネルの健全性とトンネルの重要度が高く対策を優先的に進めるために必要となる指標をまとめています。一覧は「(5) 対策内容と実施時期」に記載します。

(5) 対策内容と実施時期

今後10年間で対策を実施するトンネルの対策内容と対策時期、対策費用を整理しています。また(4)個別施設の状態等で整理している対策の優先度を決める指標も記載しています。

表 個別施設の状態等、対策内容と実施時期

優先度	施設名	建設年次	健全度	点検年次	工法	延長(m)	幅員(m)	トンネル等級	緊急輸送路	道路種別	交差状況	代替路の有無	通学路の有無	点検費(千円)	設計費	維持管理計画(直接、定期点検、設計・調査・補修設計・修理・本体工事案、設備設備対策)										対策費用(千円)			
																本体工(年)	本体工(直)	設備	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
1	鹿路トンネル	1966	Ⅲ	2018	天板工法	570	5.6	C	無	その他	有	有	有	2,700	3,800	12,200	1,964	4,800	計	直	直	直	直	直	直	直	直	直	15,964
2	千股トンネル	1989	Ⅱ	2016	天板工法	98	8.7	D	無	その他	有	有	有	500	500	0	0	2,800	計	直	直	直	直	直	直	直	直	直	3,600

(6) 対策費用

長寿命化修繕計画を実施することによる今後10年間の対策費用を整理しています。

表 短期事業計画費用

単位：(千円)

種別	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
設計費	3,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	9,364	0	0	0	0	0	0	0	0
点検費	0	0	500	0	2,700	0	0	500	0	2,700
合計	3,800	9,364	500	0	2,700	0	0	500	0	2,700
10年の合計										19,564千円

(7) 新技術等の活用方針

- 定期点検の効率化や高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減などを図るために新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能力タログなどを参考に新技術を活用します。

これにより、令和5年から令和10年までに約30万円のコスト縮減を目指します。

（8）費用縮減方針

- 定期点検結果から得られた損傷状況をふまえて、予防保全段階（Ⅱ）判定箇所についても修繕等を検討することで、高コスト化を回避し、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減を図ります。
- 集約化及び撤去、機能縮小の検討を行いましたが、2施設とも山間部に位置しており、隣接する迂回路を通行した場合、約5km（所要時間約15分）を迂回することや、山地からの崩土等により通行止めとなつた際に集落が孤立する可能性もあり、社会活動等に影響を与えるため集約化・撤去を行うことが困難な状況です。周辺の状況や施設の利用状況に変化があれば、再度検討を行います。